

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	情報システム管理・運営事業費 [ 情報システム管理・運営事業 ]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 10	電算管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input checked="" type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	デジタル政策（情報管理） 課CT基盤管理（情報システム係）				課長名	菊地 浩		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	5 - 2		
【施策名】 ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現					総合計画書 (ページ)	108		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	利用する職員 →			職員数(再任用、会計年度任用職員を含む)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
システムが問題なく利用できる →			問題がある時だけ連絡があるため、問題がない状態を計量できない					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
システム稼働状況の監視 →			常時					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	約1000	約1000	約1000		
	成果指標	②の数値						
	目 標	②の目標値						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
活動指標		③の数値						
3 経費	事業費(実績)		円	354,210,792	495,405,476	412,518,520	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	354,210,792	369,528,476	403,608,520		
		特定財源	円	0	125,877,000	8,910,000		
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	4.0	4.0	4.0		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	33,240,000	33,520,000	33,000,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	387,450,792	528,925,476	445,518,520			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
	同規模の団体と比較すると情報システムに係る費用が高額である。(機器の台数やシステム数を無視した単純な予算額) 契約を5年間の債務負担行為で組むことが多いが、発注前段階での要件調整に時間を取れていない。 デジタル政策課職員に求められる役割が組織内で明確化されていない。現状の体制ではDXの推進を行う部署ではない。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システム(機器含む)は、5年に1回の更改年の前前年度から方針検討を始める。</li> <li>サーバー、パソコン、ネットワーク機器、システムの最適な調達方法を検討する。</li> <li>DXとは何なのかを理事者含めて全庁的に理解してもらう。</li> </ul>							